

2022年3月期第3四半期 決算説明資料

2022.2.10



あんしん保証
ANSHIN GUARANTOR SERVICE



(証券コード: 7183)



決算概要



通期計画に対する進捗状況



各種指標



2022年3月期 重点施策



トピックス

I. 決算概要 (i) 損益計算書

(単位: 百万円)	2021年3月期 3Q実績	2022年3月期 3Q実績	前年同期差異	前年同期比	(参考) 収益認識に関する会計基準適用前		
					2022年3月期 3Q適用前金額	前年同期差異	前年同期比
営業収益	2,771	3,068	296	-	2,980	208	7.5%
営業費用	2,292	2,592	300	-	2,592	300	13.1%
営業利益	478	475	△3	-	387	△91	△19.1%
経常利益	571	572	0	-	484	△87	△15.3%
四半期純利益	387	384	△3	-	323	△64	△16.6%

※当期より「収益認識に関する会計基準」を適用しており、2021年3月期3Qは適用していない数値であるため前年同期比は未記載

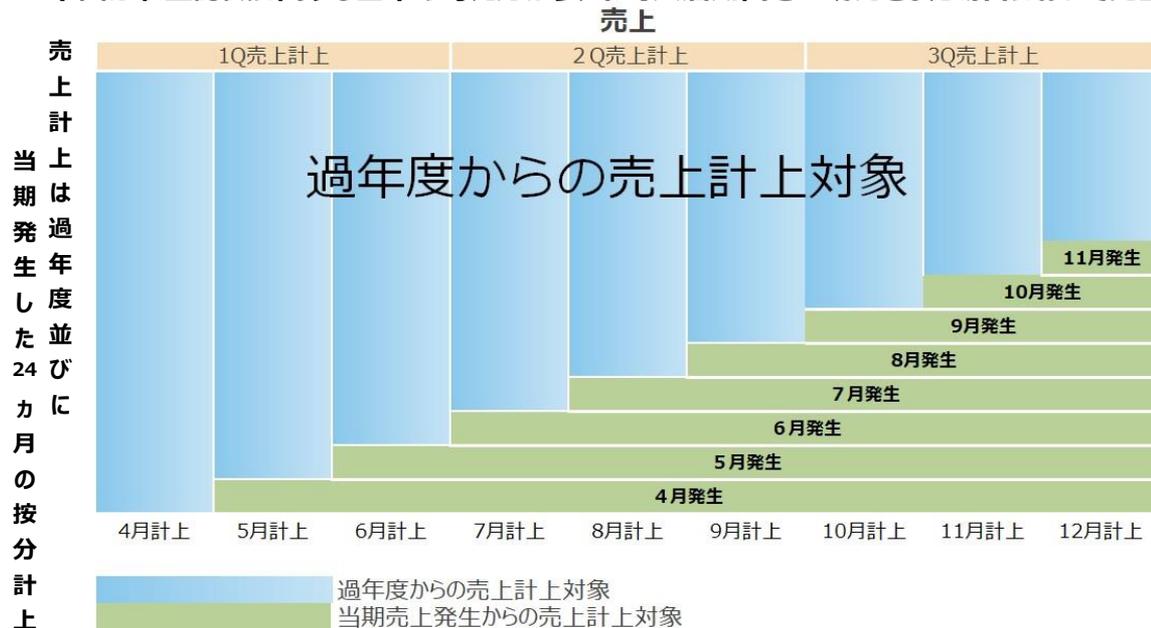
- ▶ 営業収益は新規契約件数ならびに保証件数の増加により各種保証料売上が増加したことから前年同期を上回る
- ▶ トップライン成長に向けた人員増による人件費の増加、大阪増床による地代家賃の増加、保証残高の増加に伴う貸倒引当金の増加、求償債権比率の低位安定化を目的とした訴訟関連費用の増加により営業費用は前年同期を上回るも営業利益は微減

当期より、「収益認識に関する会計基準」（以下「収益認識会計基準」）の適用を開始しており収益の計上方法は以下のとおり

収益の計上方法

保証料は家賃債務保証サービスを提供している期間に応じて按分して計上し、該当会計期間に計上しない保証料は貸借対照表上の勘定科目「契約負債」に振り替えられ、翌会計期間以降に売上として計上
 なお、「収益認識会計基準」の適用は売上（営業収益）のみであり売上原価（営業費用）は一括計上

※下図は収益認識に関する基準の考え方から、平均入居期間を24ヵ月とした場合において売上を按分して計上したイメージ



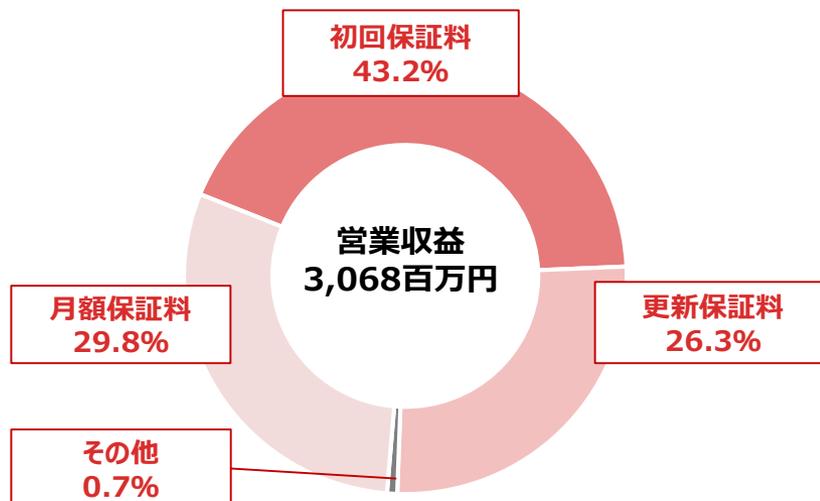
▽従前
 主に契約時に売上として一括計上
 売上原価は契約時に一括計上

▽当期より
 保証料を平均入居期間で按分し
 経過分のみを売上に計上
 未経過分は契約負債へ振替
 売上原価は契約時に一括計上

原価

1Q原価計上 2Q原価計上 3Q原価計上
 1Q発生 2Q発生 3Q発生

営業収益の内訳



初回保証料

新規契約数の積み上げにより
初回売上対象が増加したことに伴う増収

更新保証料

更新売上対象が増加したことによる増収

月額保証料

保証残高の積み上げにより月額保証料は増収

(単位：百万円)

	2021年3月期3Q		2022年3月期3Q	
	旧基準		新基準	
初回保証料	1,207		1,325	
更新保証料	695		806	
月額保証料	847		913	
その他	21		22	

I. 決算概要 (ii) 貸借対照表

(単位：百万円)	2021年3月期 3Q実績	2022年3月期 3Q実績	前年同期差異	前年同期比
流動資産	5,225	6,175	950	18.2%
(現金・預金)	1,160	1,208	48	4.1%
(収納代行立替金)	3,151	3,985	834	26.5%
固定資産	454	1,110	656	144.5%
資産合計	5,679	7,285	1,606	28.3%
流動負債	2,880	5,546	2,665	92.5%
(短期借入金)	300	300	-	-
(収納代行預り金)	1,963	2,546	583	29.7%
(契約負債)	-	2,322	2,322	-
固定負債	11	5	△5	△52.1%
(利益剰余金)	1,663	609	△1,053	△63.3%
純資産合計	2,787	1,733	△1,053	△37.8%
負債・純資産合計	5,679	7,285	1,606	28.3%

▶期中の平均調達コストは年利 1.243%

(ii) 貸借対照表 契約負債・繰越利益剰余金について



(単位：百万円)	2021年3月期 3Q実績	2022年3月期 3Q実績	前年同期差異	前年同期比
契約負債	-	2,322	2,322	-
利益剰余金	1,663	609	△1,053	△63.3%

契約負債

「収益認識会計基準」を適用したため、当第1四半期より貸借対照表の流動負債には契約負債を計上

過年度から当期までに発生した保証料を按分した収益額のうち、当会計期間に計上しない収益額に関しては、契約負債に計上し翌会計期間以降に収益額として計上

当第3四半期において契約負債は2,322百万円を計上しており、第4四半期以降に収益額として計上

利益剰余金

「収益認識会計基準」の適用により、2021年3月末日以前に計上していた保証料は、2022年3月期及び2023年3月期内で段階的に計上するため、利益剰余金の当期首残高から控除

Ⅱ. 通期計画に対する進捗状況

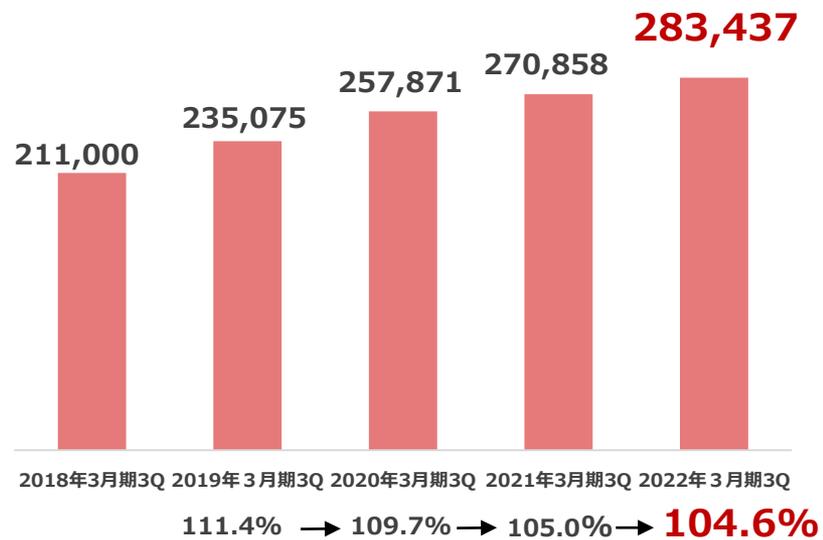
- 【営業収益】：対計画比概ね順調に推移
- 【営業費用】：業務効率化の促進に伴う人件費（時間外業務）の対計画比減少
- 【営業利益・経常利益】：収益認識会計基準の適用により、営業収益は従来の季節変動の影響がなくなる一方で、売上原価（営業費用）については従来どおり一括計上となるため、第4四半期（単独）の営業利益に影響が見込まれる。

(単位：百万円)	2022年3月期 3Q実績	2022年3月期 通期計画	通期計画比
営業収益	3,068	4,122	74.4%
営業費用	2,592	3,786	68.5%
営業利益	475	336	141.2%
経常利益	572	453	126.3%
純利益	384	298	128.6%

保証件数・保証残高は引き続き堅調に増加

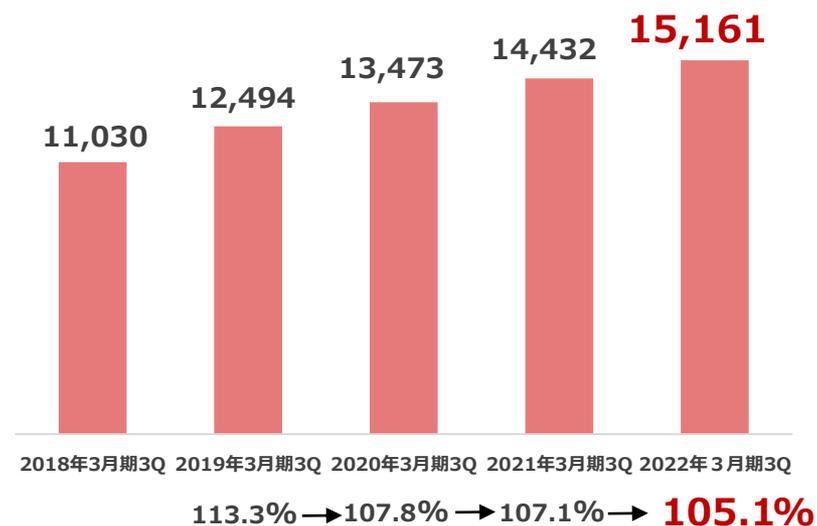
保証件数

(単位：件)



保証残高

(単位：百万円)



加盟店契約数は引き続き堅調に推移

年間立替送金額は増加見込み

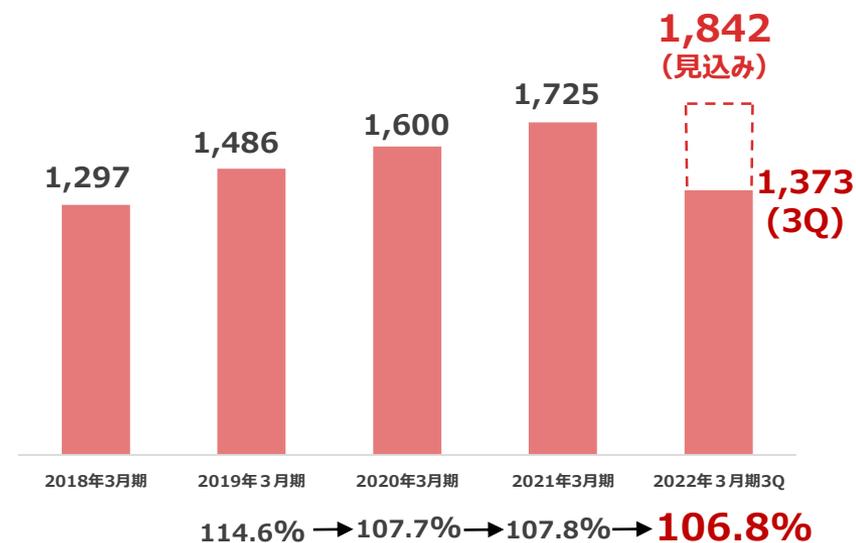
加盟店契約数

(単位：件)

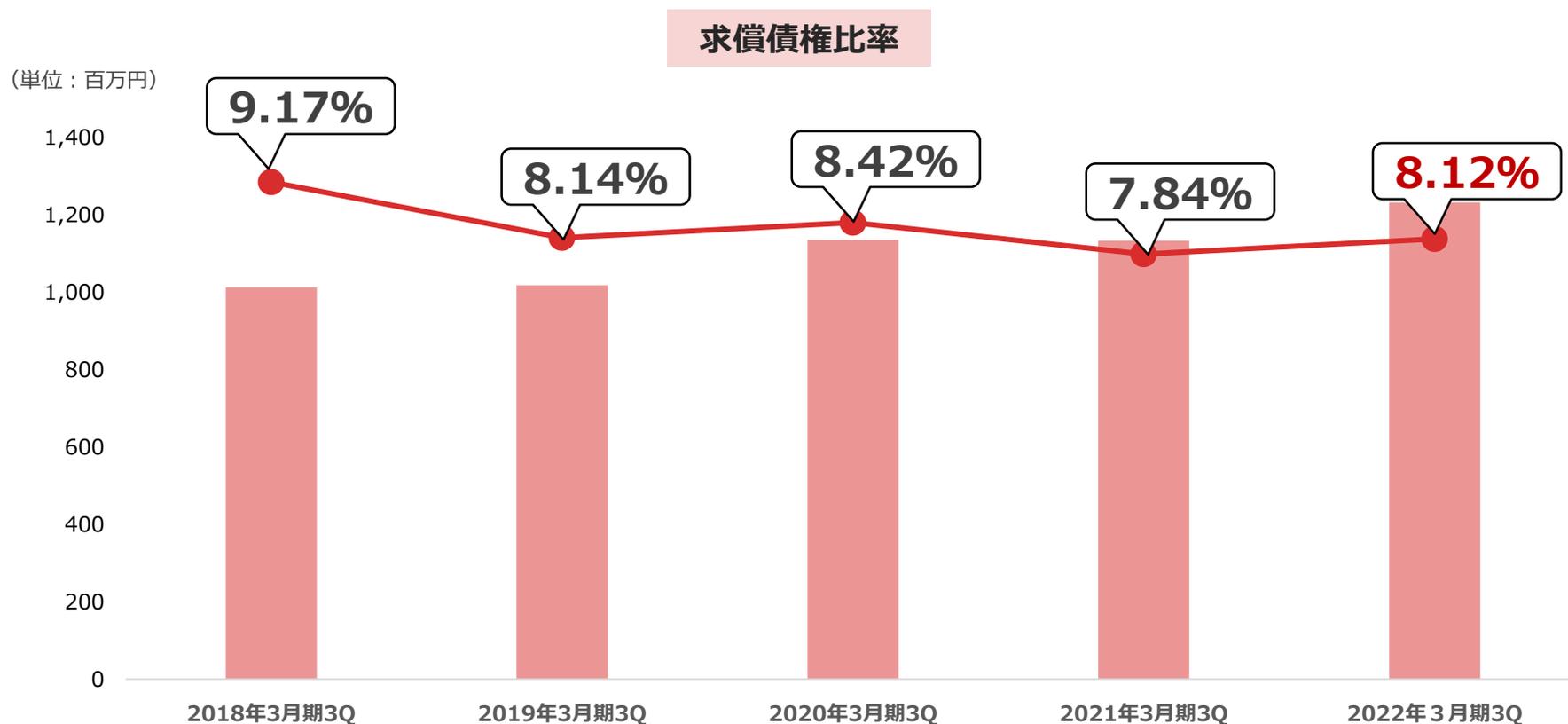


年間総立替送金額

(単位：億円)



前期比では若干の増加であるものの、直近5カ年としては安定的に推移



※求償債権比率 = 求償債権残高 ÷ 保証残高

以下の施策に取り組んでおります

重点施策

取り組み状況

営業活動について

管理会社の新規開拓、既存管理会社への営業に加え
新市場である一般物等の新規開拓へ積極的に取り組む

感染状況拡大縮小に応じた、対面・WEB営業活動の
コントロールと新規・既存加盟店営業水準の維持両立。
新たな取引先とのアライアンスおよびDXの推進

債権管理について

カウンセリング機能の強化、充実を図り、きめ細かい債権
管理を実施するとともに、弁護士及び外部委託先等との
連携強化を継続

カウンセリング機能の強化や、弁護士等を始めとする外部
委託の有効活用、IVR（自動音声対応）・SMS機能
の有効活用によるオペレーションコストの抑制

IT化について

WEB申込・API連携・電子契約等の各種WEBサービスの
拡充を行いDX推進を図る

電子申込サービス提供会社との新規提携とデータ連携による
紙申込書の廃止、継続して各種WEBサービス拡大等の
DXを推進

人材の育成について

新人研修・階層別研修・職種別研修の充実、強化や
各職場単位でOJTの充実、強化

Web会議システムを利用したオンラインでの階層別研修等の
推進、各種マニュアルの整備と業務の振り返りを行える
体制の整備を推進

コンプライアンスについて

牽制機能の徹底やコンプライアンス研修の充実、強化

部署別のセルフチェックや全部署に対する内部監査を実施
するとともに、個人情報保護・不祥事予防等をテーマとした
社内コンプライアンス研修を充実

Web申込サービス提供企業と順次連携を行い
オンライン上で各種手続きを可能とするなどDX推進を図っております

申込から契約締結までオンライン化

申込



Web申込

利用率 14.5%

契約



Web契約

2021/10/1
サービス開始

入居後



振替口座Web登録

利用率 34.1%



Web請求

利用率 78.5%

効率化・ローコストオペレーション



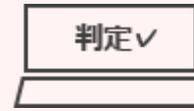
オンライン会議・研修



事務センター立上



リモートワーク



オートスコアリング機能



SMSの活用



IVR (自動音声対応)



OCRの活用



Web申込・契約
API連携

業務効率化による
オペレーションコスト削減

外国人留学生エキスポへの参加

2021年12月4日～5日に大阪府にて開催されました「外国人留学生エキスポ～日本の留学生に元気を！ 日本に元気を！ ～International Student EXPO」に参加をいたしました。

大阪・関西を中心とした外国人留学生や学校関係者、自治体の皆様の来場を募り、留学生の採用や外国人向けプロモーションを行う出展企業との交流を図りました。

海外の方には馴染みのない家賃債務保証業務を営む当社の紹介・業務説明と共に、留学生の方に日本文化を紹介するために風呂敷の包み方体験を実施しました。日本古来からのエコバックとしての紹介に興味を持って頂きました。

**来場者は2日間で約500名
当社ブースへも多くの方に
ご来訪いただきました**



世界新体操選手権への協賛

2021年10月27日～31日に福岡県にて開催されました「第38回世界新体操選手権」へ協賛をいたしました。史上初となる「世界体操」と「世界新体操」の二大選手権大会が同時に開催されるなど注目の大会となりました。



2022年度採用 内定式

2022年4月より入社予定している新卒社員の内定式を行いました。当日は7名の採用内定者が出席し、代表の雨坂より内定証書が渡されました。4月に元気にお会いできることを楽しみにしています。



当社の経営理念「人として社会に感謝し、地域社会の発展に挑む」のもと 家賃債務保証事業の持続的拡大を目指します

ESG

取り組み

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

環境

トナーカートリッジのリサイクル推進
クールビズ、ウォームビズの推進
DXによるペーパーレス化の推進
FSC森林認証紙の利用

社会

家賃債務保証事業の持続的拡大
自己啓発支援
従業員持ち株会
女性活躍推進の取り組み
ハラスメントホットライン
テレワーク・時差出勤の実施
短時間勤務制度の導入
定年再雇用制度の導入
海外留学生のインターンシップ受入・採用

ガバナンス

社外取締役の増員
取締役に対する多面評価の実施
情報セキュリティの強化
コンプライアンスの徹底
CGコードの充足



決算説明資料に関する注意事項

- ◆本資料は、経営戦略等に関する情報提供を目的とし、
当社の今後の見通しや計画等の記述がなされております。
- ◆現状で入手できる情報に基づき作成しておりますので、
本資料で記述していることが経済状況等により、
異なる結果に至る可能性を含んでおります。
- ◆また、本資料で記載されている当社以外の情報は、
公開されている内容から引用したものであり、
その正確性について当社が保証するものではありません。